

◎ラップ東京では、皆様のお役に立てるような様々な内容のコラムを発信しています。バックナンバーは www.raptokyo.co.jp から

「その気、気になる気」

サッカーの祭典、ワールドカップでは日本の活躍が連日報道されました。実は、あまりサッカーファンではない私ですが、そんな雰囲気にもせられて観戦しました。選手の気迫、サポーターの熱気はテレビを通して伝わってくるようで、特に様々な歴史をもっている国では、国の代表としての誇りが強く感じられました。サッカーに関しては、それぞれ興味の有無はあるかと思いますが、そこにある「気」を感じた方も多かったのではないのでしょうか。「気」というと色々あります。「気迫」「熱気」「本気」「やる気」「気合い」など。「気持ちで決めた」とか「気持ちで守った」といった言葉もよく耳にします。日本人にとってこの「気」は特別な意味があるように思います。

人にとつての「気」があるように会社にも「気」が重要だと、先日、読んだ本にありました。「覇気がない」「やる気がない」「無気力」…。そして会社にとつて危険なのが「無関心」であるといえます。そのような会社は表情がなく、売上が上がっても下がっても無表情。正直、当社も毎日の業務にそれぞれの人間が忙殺され、他の人の仕事に無関心となり何日も経ってしまったという、ということがあります。無関心になるつもりはないのですが、周囲をみる余裕が無い状態です。一歩離れて考えてみると、ストレスに感じることもあります。

一方、会社全体でその空気が明るく弾んでいるときというのは、当社の場合、新しい取り組みや計画を打ち合わせしているときや今まで難しい思われていたことができた時、そんな時のように思います。まだ上手くいかわからない、すべての問題が解決したわけではないといった懸念材料もありますが、それでも、いい雰囲気からは前向きな気持ちや、やる気を感じることが出来ます。

業務内容により感じ方は異なるとは思いますが、いま社内には「活気があるな」という瞬間を大事にしていきたいものです。

もうひとつ、会社は常に代謝していかなくてはいけない。会社は人間と同じように老化していくのだという話も考えさせられました。経営は老化との闘いである、現状維持は衰退を意味し、挑戦をせずに守りにはいる体制は代謝を妨げ、老化のスピードを上げる。なかなか耳の痛い話です。当社のような小さな会社にできることは何か？ 考えさせられます。新商品開発という大げさですが、今のお客様に役立つ新しいサービスはないか、まだ出会っていないお客様には何が必要なのか、役立つものは何か、まだ頭を絞りいつも考えますが、ひとり考えていても見つかりません。そんなときは「やる気」があり「元気」な人に会うようにしています。そのような人は考えも前向きなので、何気ない話からヒントを見つけられるときがあります。

また、営業で回っていると「活気」のあるお客様がいます。店舗であればお客様とお店側の人との元気な会話が聞こえ、事務所であれば、社員同士の活発な話し声が聞こえたりします。その空間はとても心地よい雰囲気のため、その「気」に引き寄せられます。そしてそのようなお客様は、自然に繁盛しているような「気」がします。自社の雰囲気、空気は？ 考える良いキッカケになりました。

(参考) 生きている会社、死んでいる会社 遠藤 功著

ご案内

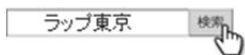
IT 導入支援補助金

(最大 50 万円)

～第二次公募に向けて準備しませんか？～
(第二次公募締め切り 8月3日まで)

このような IT ツールに補助金が使えます！

- ・予約機能や受発注機能
- ・ブログ構築
- ・顧客管理システム
- ・グループウェア
- ・スマホ対応ホームページ etc…



当社は IT 支援事業者にて採択されています。
ご興味のあるお客様は下記までお問い合わせください。

ラップ東京株式会社
TEL:042-349-3535 (担当: 田島)

※ラップニュース バックナンバーは
ホームページからご覧いただけます。
※ アンケートがありますので
よろしかったら、ご意見をお聞かせ
ください。